

間中りんぺい

活動報告

2018年11月

子どもに関連した問題を考えるとき
当事者である子どもの「声」を大事にしたい

板橋区では、2021年の児童相談所開設に向けて準備・計画を進めています。児童相談所や児童養護施設、アドボケイトに関して、9月の本会議で質問した内容を踏まえて今号ではお伝えします。

Topics 1 児童福祉法の改正

虐待通報件数が増加する中、国は平成28年6月に児童福祉法を改正し、特別区においても児童相談所の設置が可能に。23区では練馬区以外の22区で開設の予定。

Topics 2 ケアが必要な児童数

虐待を受けるなどケアが必要な要保護児童の発生率は全児童人口の1%とも。日本の子どもの数で計算すると十一万人の子どもたちが見過ごされている可能性あり。

Topics 3 児童相談所開設反対の動きも

港区南青山での児童相談所など関連施設の開設に、地元住民の一部が反対をしているというニュースがありました。

計画では児童相談所と子ども家庭支援センターの機能を併せ持つ「(仮)板橋区子ども家庭総合支援センター」を旧板三小に設置します。現在は北区にある都の児童相談所が担当していますが、自前で設置後は、自区の子供には自区の児童相談所がより身近な行政として対応します。

2018年9月25日 板橋区議会本会議 子どもの「声」について 質問要旨

1. ケアが必要な全ての子どもにケアを

間中: 虐待通報増加についても通報が増加しているだけ一方で、潜在的な虐待にアプローチできていないことが課題。最も子どもに近い行政となる児童相談所が、どのように繋がっていきけるだろうか

区長: 従来からのネットワークを活かし、児童相談所設置を契機にさらに発展させ必要な支援を的確に行い、子どもたちのケアを推進していく。

2. 巣立った若者への支援と社会的養護

間中: そもそも家庭で生活することが困難であった児童養護施設退所者は、進学率も低く、住宅確保の際の保証人選定、家賃、生活費など問題を多く抱える。里親やファミリーホームを巣立つ若者も含めて支援体制確立を。

区長: 区内児童養護施設のヒアリング調査等を行い、退園者の住宅支援などニーズや課題の把握に努めている。国や東京都の動きを注視しながら、区として支援策について検討を進めていく。

3. こどもアドボケイトの導入を

間中: 無力感にとらわれて声を出すことができなくなっている子供たちが、自信を持って自分の気持ちや願いを話せるように励まし、支援することがアドボカシーであり、子供の権利条約第1条にも規定された意見表明権である。国連子どもの権利委員会は、乳幼児も障害児を含むすべての子供には、声を聞いてもらう権利があるとしている。子供が児童相談所や施設に関わる際には、自分に関わる全ての決定に参画する権利を持ち、意見表明権が確保されるべき。そして児童養護施設での虐待を防ぐためにも、子どもの声を拾う第三者機関であるアドボケイト職の配備が必要。区の児童相談所にも導入を。

区長: 区民に最も近い自治体として、子どもの権利擁護の観点からその意見を酌み取り、子どもの権利を代弁する方策について、国や東京都の動向を注視し研究を進めていく。



間中りんぺいニュースピックアップ

市民協働で街づくりがしたいから、エンパワメントをテーマに活動中！

上板橋駅周辺地区再開発事業の進捗状況をお伝えします！



1. 「上板橋駅南口駅前東地区（再開発先行区域）」

先ず東地区（左図の緑色の部分）を開発先行区域とし、事業認可に向け作業中。今年6月に現況測量完了。駅前広場や道路に関しては再開発準備組合が警視庁や国道事務所と協議、調整中。今後、H31に事業計画案の策定、事業認可（予定）H32以降、権利変換認可、除却及び工事着手。

2. 「上板橋駅南口駅前西地区（検討継続区域）」

検討継続区域とした西地区では、西地区協議会が再開発事業の可能性を残しつつ、実現可能な事業の進め方を検討中。

3. 進捗が遅れている理由について

準備組合と地権者との交渉が難航、原因は再開発ビル1階に出店意向のテナント。現在施設計画の見直しと共に、関係者の意見集約。来年1月までに施設計画案の見直しを行う予定。



駅前外観イメージ

「台湾に乾杯」開催！約52万円を被災地と児童養護施設に寄付！

小豆沢水上バス乗り場で開催している「小豆沢で乾杯」イベントシリーズ、今回はひなたグループさんのやりたい！を応援して台湾友好チャリティーイベントを開催しました。多くの方々に会場は大にぎわい、あっという間に売り切れ続出でお叱りの声も…。

今回の利益分約52万円は、西日本豪雨被災地と区内児童養護施設に寄付します。



毎回ご協力頂いている小豆沢北町会さんをはじめ、多くの皆様のおかげです。ありがとうございます。

「小豆沢で乾杯」

「水辺や道路、公園など公共の場は本当は誰でももっと自由に楽しく使える！」を広めたくて始めたイベントです。こんなテーマでやってみたい！があれば一緒にやりましょう！

間中りんぺいプロフィール

- 昭和54年蓮根生まれ 39歳 家族：妻と娘（1歳児子育て中）
- 2015年初当選 現在1期目
子どもの貧困対策調査特別委員、健康福祉委員会副委員長
- ミズベリングいたばし、三田線バル、いたばし対話スラス共同代表
- ひいらぎ保育園、志村第六小学校、志村第三中学校、板橋高等学校卒
- 5年間のサラリーマン勤務の後、スリランカ内戦地域で支援活動、NZ留学を経て28歳で慶應大学入学（卒業式学位記授与代表生）
- ボーイスカウト板橋第四団 隊長
- 志村消防団第二分団 団員



Facebook



LINE



ホームページ

ご意見、街のこと、住みたい街の未来像、お聞かせください
間中りんぺいは対話を第一に考えます

間中りんぺい 事務所

Tel : 080-3442-1520 Fax : 03-6886-8417

Mail : rinpeimanaka@gmail.com

〒174-0051 板橋区小豆沢2-21-1-201

